

許可の内容

全体計画

(1)RPF化再生事業(中間処理施設)

廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くずを原料として、ボイラーで使用している化石燃料の代わりとなる、RPFと呼ばれる固形化燃料をサーマル・リサイクルにて生産しています。処理過程において、マテリアル・リサイクルが可能な廃棄物については、取り出したのち再利用を図っています。

(2)産業廃棄物の収集運搬

産業廃棄物の種類及び処分量

取扱予定数量

(1)RPF製造施設

・1号破砕機(プラ破砕機) 2. 25t/h(24. 75t/日)

・2号破砕機(破砕機)

①木くず 2. 13t/h(23. 43t/日)

②紙くず 1. 01t/h(11. 11t/日)

③繊維くず 0. 39t/h(4. 29t/日)

・RPF成形機(加熱圧縮) 3. 16t/h(34. 76t/日)

(2)破砕施設

・廃プラスチック類(破砕) 0. 50t/h(5. 50t/日)

(3)圧縮施設

・金属くず(圧縮) 0. 27t/h(2. 97t/日)

収集運搬・処分業務の計画

収集運搬

搬入出予定

(1)搬入出使用台数 38台

(2)搬入出時間 午前8時～午後7時

処分業務

(1)稼働時間帯 午前8時～午後7時

(2)施設稼働時間

①RPF製造施設

・年間運転時間 305日/年

・日間運転時間 11時/日

②産業廃棄物・一般廃棄物(廃プラスチック類)破砕

・年間運転時間 305日/年

・日間運転時間 11時/日

③産業廃棄物・一般廃棄物(金属くず)

・年間運転時間 305日/年

・日間運転時間 11時/日

環境保全措置

公害防止対策

(1)水質汚濁防止の方法

①プラント排水対策

プラントからの排水はありません。

②生活排水・雨水排水

生活排水は公共下水道に放流し、雨水排水は側溝に放流しています。

(2)騒音・振動防止の方法

①騒音対策

可能な限り低騒音型の機器を選定しています。

騒音発生機器は、建屋内とし、騒音対策を講じています。

②振動対策

振動を発生する機器は、強固な基礎を設ける等の防振対策を講じています。

(3)悪臭防止の方法

搬入された廃棄物は、建屋内に保管し屋外流出を防いでいます。

排気は、活性炭を使用した脱臭装置を通し屋外へ排出しています。

(4)粉塵防止の方法

破砕処理は密閉された設備内で行い、集塵装置を設けるなどの粉塵対策を講じています。

事業計画の概要